

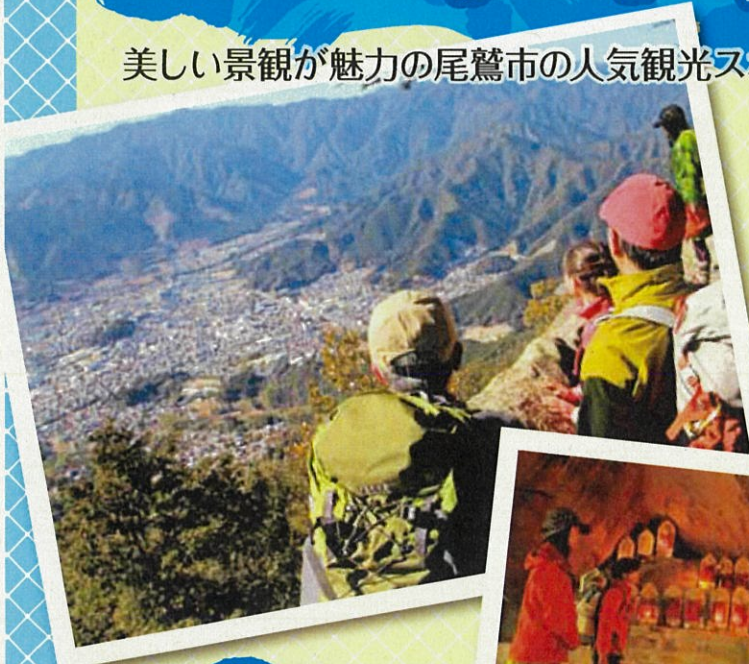
来~まて~!
尾鷲
OWASE



尾鷲市

おいとこまるで見えていー!

美しい景観が魅力の尾鷲市の人気観光スポットをご紹介します!



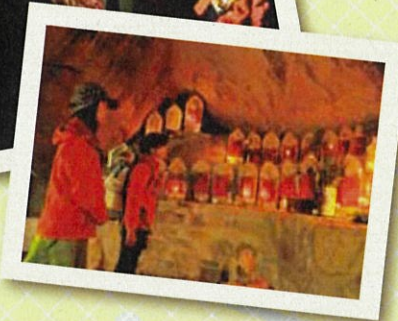
尾鷲の山歩き

▲天狗倉山^{てんぐらさん}山頂からは尾鷲市街が一望でき、その大岩の上からは百名山大台ヶ原を望むことができる絶景ポイントです。ウォーキングイベント「おわせ海・山 ツーデーウォーク」も開催しています。

太いものは直径30cmにもなる!

土井竹林

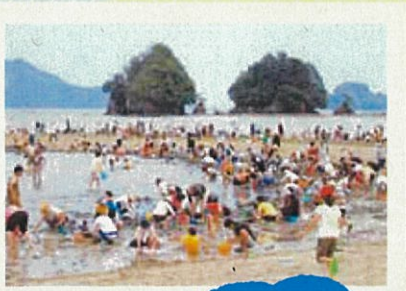
▶江戸時代の林業家土井家によって薩摩から移植された竹林。約4,000㎡の広大な敷地に数千本の竹が広がります。



市指定有形文化財!

湧井井戸

◀土井家の別荘にある石造りの井戸。この地域では珍しい造りで、井戸からは今でも水が湧き出ています。



向井 黒の浜

▲大きなアサリがとれる無料の潮干狩りスポット。湾内には、海食洞が見事な弁財島が浮かんでいます。

←害虫対策



まち歩き

◀漁師町の路地裏など尾鷲の情緒あるまち歩きが楽しめる。尾鷲の歴史や観光スポットを案内するガイドもいます!



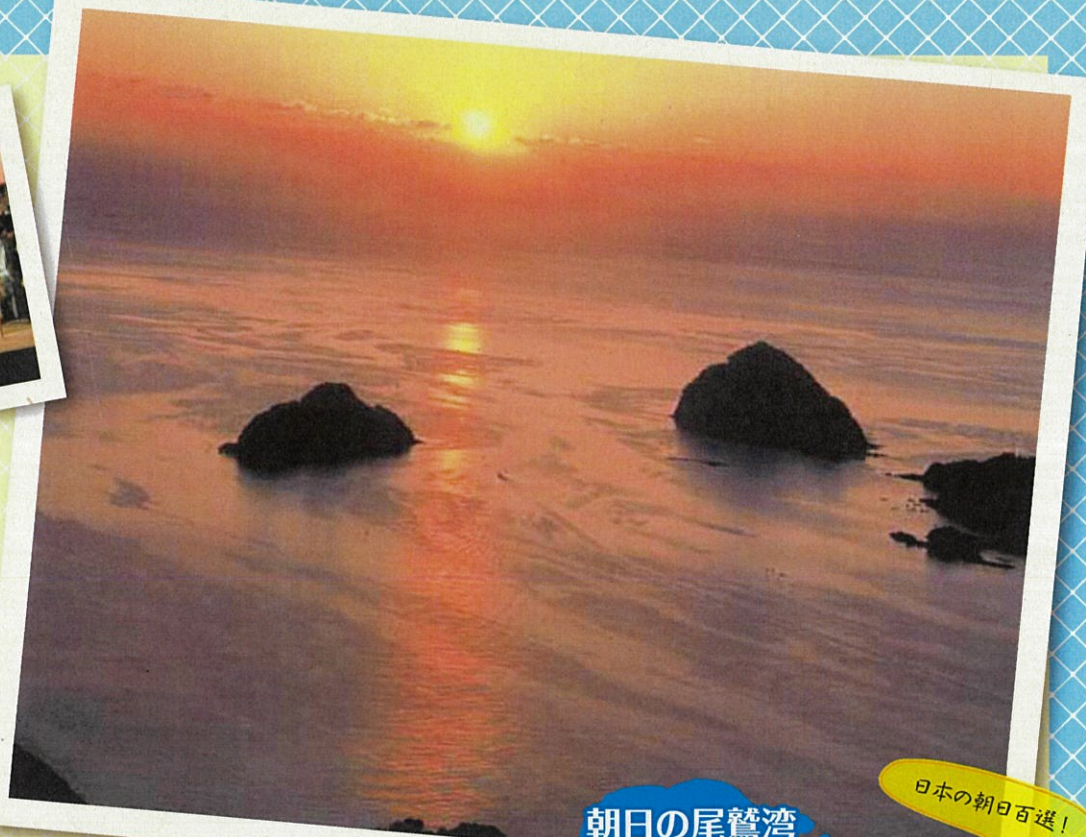
須賀利の漁村

▲昔ながらの漁村の風景が残るまち。海から山にかけて瓦屋根の古民家が隙間なく建ち並ぶ風景にはどこか懐かしさを覚えます。



尾鷲節

▶昭和29年に全国民謡大会にて第三位を獲得した、三重県を代表する民謡。毎年、尾鷲節の歌い手の日本一を競う「全国尾鷲節コンクール」が開催されます。



朝日の尾鷲湾

日本の朝日百選!

▲尾鷲よいと朝日を受けて〜♪の尾鷲節の歌詞でもあるように海一面がオレンジ色に染まる尾鷲湾の朝の景色は感動もの! 天満浦エリアからがベストスポットです。



三木埼

◀賀田湾にせまる山々が美しく、吉野熊野国立公園の特別地域にも指定。ヤブツバキが群生する三木埼園地から三木埼灯台までの約1.6kmの散策路がおすすめです。



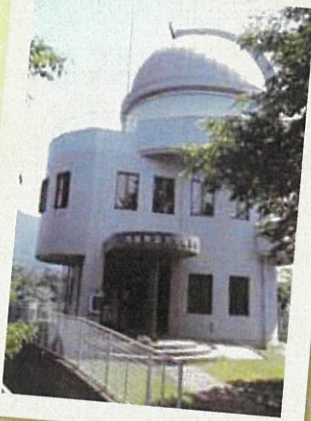
世界の椿園



▲さまざまな国から集められた753品種の椿と約2,500本のヤブツバキが楽しめます。冬から春にかけて見ごろを迎えます。

尾鷲市立天文科学館

▶口径81cmの大型反射望遠鏡を備え、昼は太陽の迫力のあるプロミネンスや黒点などを観察できます。また、夜は星空観望会も行われます。

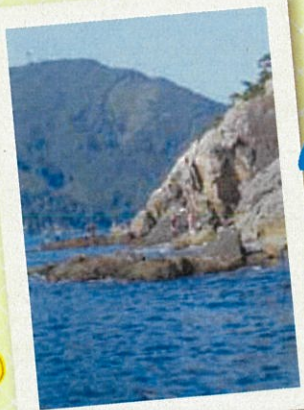


釣り

◀リアス海岸で黒潮が流れ込む尾鷲湾は、魚が集まる好漁場。磯・投げ・船釣りが尾鷲全域でオールシーズン楽しめます。冬には尾鷲磯釣大会が開催されます。

三木里ビーチ

▲白い砂浜が広がり、透き通った海水が美しいビーチです。トイレもあり、キャンプも可能。



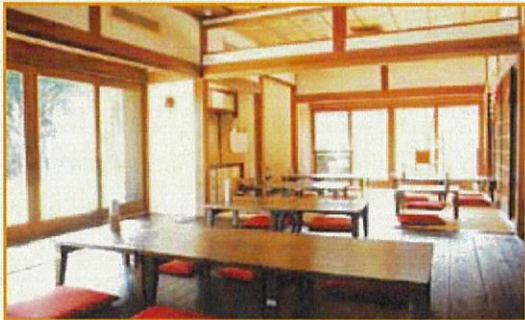
にほんの里100選!

夢古道おわせ

尾鷲のお母ちゃんによる名物ランチバイキングや、海洋深層水のお風呂、地場産品のお土産物など、尾鷲の自慢が勢ぞろい!

尾鷲の家庭料理をバイキング形式で満喫!

お母ちゃんたちが腕をふるった、尾鷲の旬の素材を活用した料理を、心ゆくまで食べることができます。



店内には
尾鷲自慢の特産品が
ずらりと揃う!

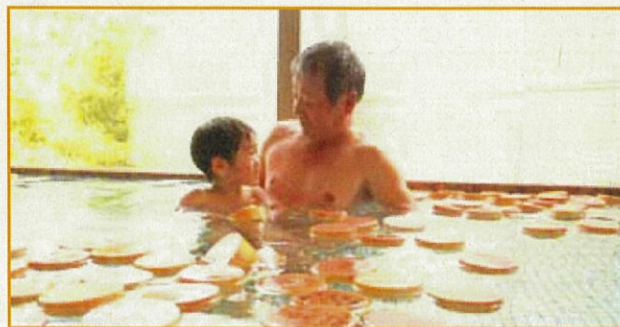


ちょっと寄

海洋深層水の温浴施設

夢古道の湯 みえ尾鷲海洋深層水のお風呂

全国でも珍しい海洋深層水の湯。保温・保湿に優れているほか、お肌がすべすべになる効果も。露天風呂からは尾鷲の雄大な自然の景色が楽しめます。



夢古道おわせ

〒519-3625 尾鷲市大字向井12-4 県立熊野古道センター隣接
TEL: 0597-22-1124 FAX: 0597-22-1124
<http://yumekodo.jp/>

三重県立 熊野古道センター

歴史を知ると、
古道歩きが
もっと楽しくなる!

熊野古道に関する旬の情報が満載のビジターセンター。

熊野古道の魅力を深く掘り下げ、学ぶことができます。熊野古道とその周辺の歴史や文化の資料が展示されているほか、体験学習も楽しめます。



三重県立熊野古道センター

〒519-3625 尾鷲市大字向井 12-4
TEL: 0597-25-2666 FAX: 0597-25-2667
<http://www.kumanokodocenter.com/>

尾鷲市を満喫するための観光施設をご紹介します!

アッていっ~!

アクアステーション

全長12.5kmの取水管の長さはなんと世界一!

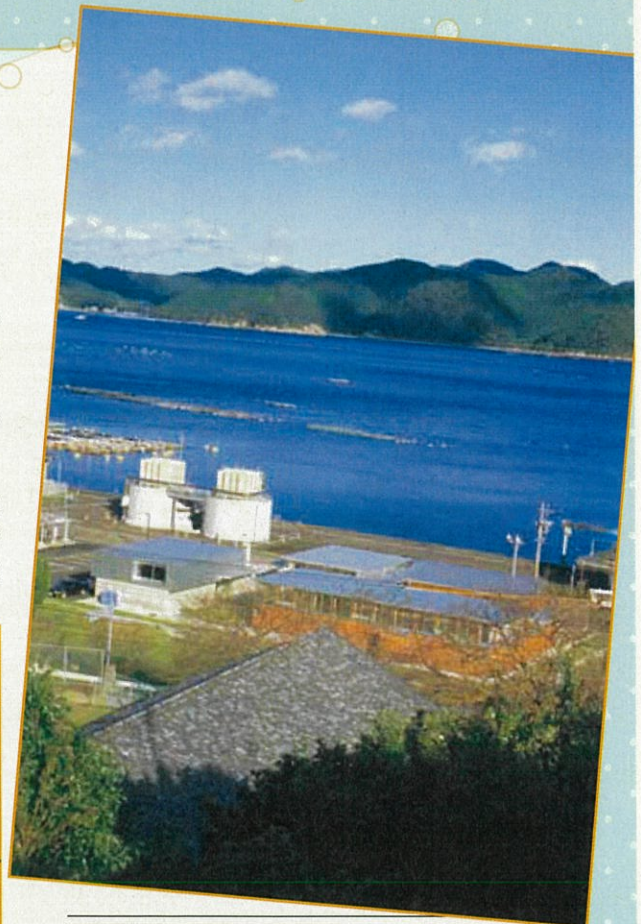


太陽の光が届かない水深415mから汲み上げる、清浄で栄養豊富な海洋深層水の取水・分水を行っているほか、取水方法なども学べる交流拠点施設。

原水、淡水、濃縮水、カルマグ水、高ナトリウム水のそれぞれ処理法の異なる5種類の海洋深層水があります。淡水はごはんがおいしく炊けると好評です。



海洋深層水を使って、さんま寿司やパン等を作る体験学習も行っています。



アクアステーション

〒519-3922 尾鷲市古江町 806 番地
TEL: 0597-27-8080 FAX: 0597-27-8081
<http://www.owase-dsw.org/>

世界遺産

尾鷲市を通る4つの“熊野古道”

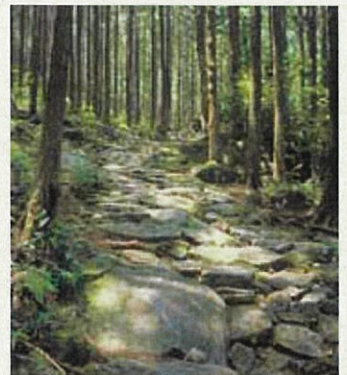
熊野古道 伊勢路とは？

聖地「伊勢神宮」からいくつもの険しい峠を越え、もう一つの聖地「熊野三山」を詣でるために通った“祈りの道”。古くは、「伊勢に七度、熊野に三度」という言葉もあったほど、老若男女誰もが訪れたいと願う憧れの地であった。伊勢路には、聖地巡礼の歴史、まばゆいばかりの絶景、人々の暮らしが今も息づいている。

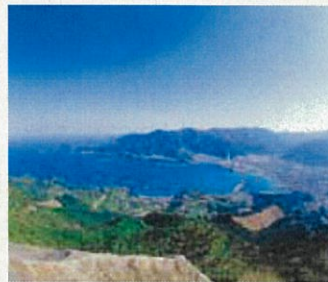
馬越峠

マゴセトウゲ

紀北町から尾鷲市へ抜ける峠道で、重厚な自然石がきれいに敷き詰められた美しい石畳とヒノキ林が特徴。天狗倉山や便石山へのルートも整備されています。



▲石畳道



▲天狗倉山から望む尾鷲湾の眺望

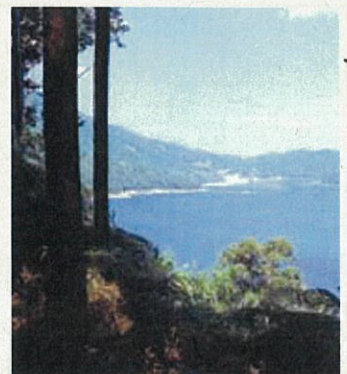


▲馬越不動尊

三木峠 羽後峠

ミキトウゲ
ハゴトウゲ

地元の人々やボランティアによる掘り起こしで発見された峠道。階段状の石畳や伊勢路で一番長い猪垣が見どころ。木々の間から望む賀田湾を楽しみながら歩ける峠道です。



▲賀田湾を望む風景



▲羽後の猪垣



▲賀田羽根の五輪塔(市有形文化財)

▲八鬼山町石(県有形民俗文化財)

▲三木峠

も歩いていへ

伊勢路”をご紹介!

日本で初めて文化的景観 として登録された世界遺産

2004年7月、3つの霊場とそれらを結ぶ参詣道、そして、自然や人々の営みなどにより長い歴史の中で形成された文化的景観は、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。

八鬼山越え

ヤキヤマゴエ

かつて西国第一の難所といわれた峠道。階段状になった急勾配の石畳が続くコースですが、史跡も多く残っており、頂上付近のさくらの森エリアからは素晴らしい眺望が楽しめます。



▲桜茶屋一里塚



▲荒神堂



▲頂上付近のさくらの森エリア

曾根次郎坂・ 太郎坂

ソネジロウザカ・
タロウザカ

尾鷲市から甫母峠を越えて熊野市へ抜けるこの峠道。名前の由来は、この峠は志摩と紀伊の国境であったため、「自領・他領」がなまって「次郎・太郎」になったといわれます。きれいな石畳や猪垣など、見どころも多くあります。



▲曾根の五輪塔(市有形文化財)



▲木漏れ日の散策路



▲くじら石



いろいろあるで尾鷲の逸品

豊かな自然に恵まれた尾鷲市ならではの逸品をご紹介します！



ふんわりとした生地に
ごし餡がたっぷり

▼とらまき

戦国時代の水軍、九鬼水軍の戦法を記した巻物「虎の巻」を模して作られたあん巻き。カスタードの入った「クリームとらちゃん」は女性に大人気。



▲ 新鮮な海の幸

熊野灘の恩恵をたっぷり受け、尾鷲港に水揚げされる魚介類の数々をぜひご賞味あれ。



▲ 魚ごはん

いろいろな魚を使った炊き込みご飯。鯛、サバ、太刀魚、ブリ、たまにはタコ、イカを使ったり！尾鷲のおふくろの味です。



▲ みえ尾鷲海洋深層水の商品

三木崎沖の水深415mから汲み上げた海洋深層水を加工した飲料水や塩等。おいしく、ミネラル豊富で、体にも優しい。



▲ えごまもち

もち米やサツマイモなどで作った餅に、ザラメとエゴマをかけたもの。輪内地区に伝わる名物です。



▲ 虎の尾

形が虎のシッポに似ていることから「虎の尾」と名づけられた刺身唐辛子。古くから尾鷲の人々から愛されている伝統野菜です。



▲ 甘夏

尾鷲では、温暖な気候と海風を受けることで、甘くてジューシーな甘夏が育ちます。



◀ おさすり

5月の節句になると家庭で作られる尾鷲のかしわ餅。かしわの葉の代わりにサルトリイバラの葉を使います。



地域によって作り方が違う?

▲さんま寿司

さんまを丸ごと一尾使ったお寿司。尾鷲地域の代表的な郷土料理です。



おめでたい行事に作られる祝い料理!

▲押し寿司

薄く切って酢に漬けた魚の身や薄焼き卵、季節の野菜などを何段にも重ねた押し寿司です。

いろいろな加工品



▲梶賀のあぶり

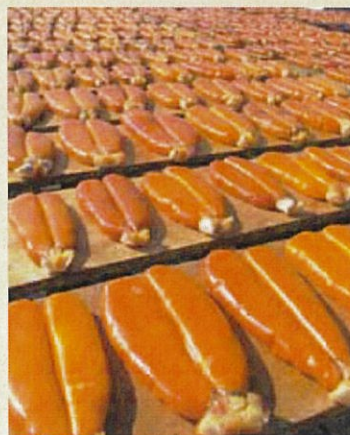
昔から梶賀地区に伝わる保存食。内臓を取り塩をして、サクラやカシの木で燻した逸品です。



尾鷲では“かんぴんたん”といわれます

▲さんま丸干し

太平洋を南下してきたさんまは、脂が抜け落ち、旨味が凝縮。尾鷲の冬の風物詩です。



▲からすみ

鮮度・品質の良いボラの卵を塩漬けにし、天日干しをした日本三大珍味の一つ。



▲かつおの生節

新鮮なかつおを茹で、燻して作られる伝統の保存食。スライスして大根おろしや漬物と一緒に食するのが尾鷲流。

工芸品もこんなに!



▲尾鷲わっば

良質な尾鷲ヒノキを材料に、一つひとつ手作業で作られる漆器です。三重県指定の伝統工芸品。



日本三大人工美林に数えられる尾鷲ヒノキ

▲ひのき木工品

細やかな年輪と上品な光沢で名高い「尾鷲ヒノキ」。間伐材を利用した、人に、自然にやさしい商品です。



▲へむへむ

尾鷲ヒノキを削ったシートでできたタワシ。なんと、洗剤なしで食器洗いができるエコロジーなタワシです。

とどろきの祭り!

一年を通して楽しめる、尾鷲のにぎやかな祭りをご紹介します!



山の神

2月7日

矢浜地区開催

魚のオコゼを見せて笑い飛ばし、豊作と山の安全を祈願する祭り。昔、山の神と海の神が山の幸と海の幸の数を競った際、オコゼのせいで負けた山の神をなくさめたことから始まったといわれます。



ハラソ祭り

1月の第2月曜日

梶賀町開催

江戸時代に盛んに行われていた、捕鯨の様子を今に伝える祭り。鯨の供養を行った後、鯨に銚を打ち込む様子や「ハラソ」の掛け声とともに八丁櫓を操る古式の漕法など、当時の様子を再現します。

ヤーヤ祭り

2月1日～5日

中心街開催

白装束の男衆が狭い通りで勇ましいかけ声とともに激しくぶつかり合う奇祭として知られる、豊漁と豊作を祈願する尾鷲神社の祭礼。戦国武将の「やあ、やあ。我こそは…」という名乗りに由来するといわれています。

— ヤーヤ祭りの日程 —

■ 扉開き 2月1日

午前0時ちょうどに尾鷲神社の神殿の扉を開け、参道に提灯をかざり、神のおでましを願う「扉開き神事」が行われます。

■ 在回り 2月1日

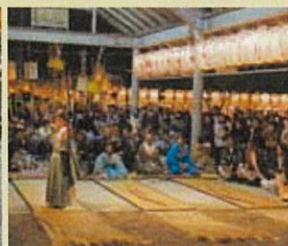
尾鷲市街中を高張り提灯をかかげてヤーヤ祭りの始まりを知らせて回ります。

■ ヤーヤの練り 2月2日～4日

とうや
袴屋前にて、白装束を身にまとった男たちによる激しい練りが繰り広げられます。

■ 大名行列や踊り、儀式など 2月5日

大名行列、道中踊りが尾鷲神社を正式参拝し、夜には、弓射の奉納、お獅子の出御、袴渡しの儀式が執り行われます。



おわせ港まつり

8月第一土曜日

中心街開催

地域の人々によるステージや午前中にはイタダキ市、魚つかみ大会などさまざまなイベントが盛りだくさん! 尾鷲の夏の一大イベントです。メインイベントの海上花火大会は、迫力満点! 約3千発の花火が夜空を彩ります。



浄の城つつじ祭り

4月中旬の日曜日

曾根町開催

室町時代にこの地を治めた曾根弾正が築いた、標高180mの浄の城跡とその山麓の城山公園には、約2,000本のオンツツジが咲き誇ります。全国でも珍しいムラサキオンツツジは必見です!



にらくら祭り

12月31日~1月1日

九鬼町開催

子どもたちが家々を回って薪を集め、石積みのでんぐしをした「にらくら」に積み上げ火をつけます。この火にあると1年風邪を引かないといわれています。

その後、この消し炭の泥田で相撲を取り、諸病災厄を取り除くとされる泥をかけ合う神事が行われます。



お祭りカレンダー

1月

鱒祭り	九鬼町開催
ギッチョ祭り	古江町開催
ハラソ祭り	梶賀町開催
石経	須賀利町開催

2月

氏神祭り	早田町開催
ヤーヤ祭り	中心街開催
山の神	矢浜地区開催

4月

浄の城つつじ祭り	曾根町開催
----------	-------

6月

御山まつり	三木里町開催
-------	--------

7月

九木神社夏まつり	九鬼町開催
----------	-------

8月

おわせ港まつり	中心街開催
---------	-------

9月

八幡神社例祭	中心街開催
--------	-------

10月

稻荷まつり	三木浦町開催
-------	--------

11月

山王神社例祭	賀田町開催
飛鳥神社例祭	曾根町開催

12月

にらくら祭り	九鬼町開催
--------	-------

尾鷲イタダキ市

毎月第一土曜日
8:30~12:30

尾鷲魚市場開催

尾鷲の特産品が尾鷲魚市場に勢ぞろい! 新鮮な鮮魚や干物から、野菜、果物、お菓子など、特別価格で手に入れよう。

※12月は第1・3土曜日、1月はお休みです。



詳しい情報は、商工観光課までお問い合わせください。

C 須賀利エリア



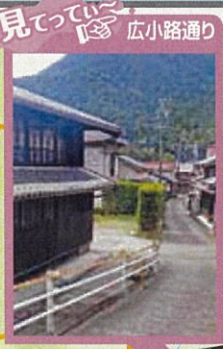
D 早田エリア



E 三木浦エリア

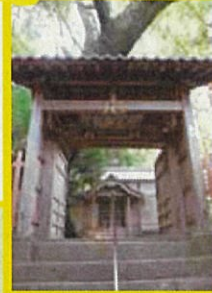


F 三木里エリア





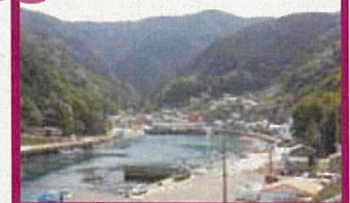
見ていていっしょ 飛鳥神社



H 曾根エリア



寄ってていっしょ 梶賀地区



寄ってていっしょ 古江地区



尾鷲へのアクセス案内



本図は三重県へのアクセスを概念的に表記したものであり位置関係等は実際と相違する場合があります。

自動車	鉄道	高速バス
名古屋から…約2時間5分	名古屋から…約2時間30分	東京から…約8時間30分
京都から…約2時間15分	京都から…約3時間30分	名古屋から…約3時間
大阪から…約3時間	大阪から…約3時間10分	

【自動車を利用した場合】
 ■名古屋方面：東名阪自動車道→伊勢自動車道→紀勢自動車道→尾鷲北IC→尾鷲市
<http://goo.gl/wGpOYy> (名古屋市役所からのアクセス: GoogleMap)
 ■大阪方面 (名神高速道路もしくは西名阪自動車道を利用)
 ・名神高速道路→新名神高速道路→伊勢自動車道→紀勢自動車道→尾鷲北IC→尾鷲市
 ・西名阪自動車道→天理IC→(名阪国道)→伊勢自動車道→紀勢自動車道→尾鷲北IC→尾鷲市
<http://goo.gl/4T4WXo> (大阪市役所からのアクセス: GoogleMap)

【公共交通機関を利用した場合】
 ■名古屋方面：JR名古屋駅(JR特急ワイドビュー南紀)→JR尾鷲駅(約2時間30分)
 ・名古屋(名鉄/スセンター)→尾鷲市病院前(約3時間)
 ■大阪方面：近鉄大阪難波駅(近鉄特急)→JR松阪駅(JR特急ワイドビュー南紀)→JR尾鷲駅(約3時間10分)

観光案内・イベント案内

尾鷲市 商工観光課

TEL : 0597-23-8223

FAX : 0597-23-8225

尾鷲まるごと観光物産 WEB

<http://owasekankou.com/>



おわせの見どころご案内

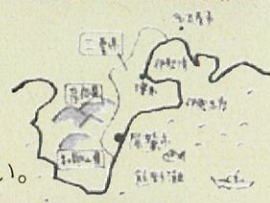
協同組合 尾鷲観光物産協会



ちょっと寄ってっマ

尾鷲の観光・物産情報は
こちらまでお問い合わせください。

TEL.0597-23-8261



尾鷲よいとこ
朝日をうけてヨイソレ
浦で五丈の網を曳く
ソノコサイサイ